

会議名	2019年度第3回理事会議事録	文責	五木田
開催日時	2019年9月29日（日曜日） 14時30分～16時30分		
場所	横浜市民防災センター研修室		
参加者 （敬称略）	鈴木会長、五木田副会長、松永理事、山岸理事、沢田理事、内田理事、橋場理事、 小野寺理事、宇田川監事、日暮監事 欠席：川畑副会長		

▼議題

- (1) 横浜防災フェア報告（8月24日、25日、於：赤レンガ倉庫）
- (2) 電波伝搬調査（9月14日（土曜日））について
- (3) 新市庁舎に設置するアマチュア無線設備について
- (4) その他

議長は山岸理事、書記は五木田にて理事会を進行した。

(1) 横浜防災フェア報告（報告者：山岸担当理事）

- 支部長会で山岸理事が説明した資料を元に、個人情報保護の観点より写真を選択して本部 HP に掲載する事となった。（担当：松永ホームページ担当理事）
- 来年の横浜防災フェアは旭区支部の担当となるので本日開催した支部長会にて 永山旭区支部長にはその旨を伝えた。
- 今年の横浜総合防災訓練（九都県市防災訓練）は旭区の担当で有ったが台風の影響の為、中止となった。
- 来年の上記、横浜総合防災訓練は磯子区支部の担当。

(2) 電波伝搬調査について（報告者：内田担当理事）

- 保土ヶ谷区役所クラブの1200MHz用無線機は無線局免許状に記載してある機器が区役所の無線機設置に見当たらない為、電波伝搬調査は出来なかった。
- 保土ヶ谷区役所に設置してあるIC-911はアンテナケーブル切断に気付かずに送信してしまい故障（電波が出ない状態）している。
- 瀬谷区の電波伝搬調査データに関しては今回、移動運用データとして注釈付きのコメントを入れた集計とする。
- 各支部には経年劣化によるアンテナ系の同軸ケーブルやコネクター類の劣化及び腐食等の調査と送信機出力値及びVSWR値を調査する様メールにて依頼をする。

(3) 新市庁舎に設置するアマチュア無線設備について(担当:川畑副会長)

本日、川畑副会長が欠席の為、鈴木会長より報告がなされた。

→新庁舎に設置する設備に付いて今年1月に市・担当者にの「新市庁舎アマチュア無線設備仕様一覧」と同様な「同左一覧」を9月20日に市に持参して市・担当者に説明を行った。

当・協力会要求した無線設備一覧は下記の通り。

名称	型式	メーカー	仕様	数量
無線機	FT-991AS	八重洲	HF から 4 3 0 MHz	1
スタンドマイク	MD-100ABX	八重洲	FT-991AS 用	1
無線機	IC-9700	アイコム	144/430/1200MHz	1
スタンドマイク	SM50	アイコム	IC-9700 用	1
電源	DM-330MV	アルインコ	1 2V32A	2
アンテナ	X-5000	第一電波工業	144/430/1200MHz	3
同軸ケーブル	1 0 DFB	藤倉電線		実長
ダミーロード	DL-50A	第一電波工業	FT-991AS に装着	1
アンテナ	ATAS-120A	八重洲	HF から 430MHz	1

→上記の無線設備を来年5月に予定されている新市庁舎への引越しの前に無線機室に設置する。

→屋上に設置するアンテナに関しては議会棟9階の屋上(北側)の3か所に設置し10階の危機管理室アマチュア無線機室までケーブルを敷設する。南側にもアンテナ設置が必要であれば商店街棟の2階屋上に設置する。この場合は2階屋上より危機管理室の有る10階まで屋内配線にてケーブル敷設するので減衰が大きくなる。

→新市庁舎における電波伝搬調査(事前調査)を今年の11月中旬から12月中旬の平日に実施したいと市からの申出があった。本部側には鈴木会長、川畑副会長、五木田副会長、山岸理事の4名、調査対象となる支部は磯子区支部、緑区支部、港北区支部、栄区支部の4支部。

→新市庁舎の南側にはアパホテルが有り、もう一棟50階建て位のビル建設が予定されているので南側の電波の飛びが気にかかる。

→朝比奈ごみ焼却場に1200MHzのレピーターが設置していたが栄区の宇田川監事宅にそのレピーターを移動&設置して運用していたが当方宅からの電波の飛びは西側は可ですが北と東側が栄区から電波が出ない為、撤去して免許を返納した。

→市側より来年の電波伝搬調査は6月28日か7月14日に実施し、この電波伝搬調査の結果で何か問題が有れば市側で対応を検討したいとの申出が有った。

→「新市庁舎アマチュア無線設備仕様一覧」に ATAS-120A が記載されているが HF の運用が本当に必要なのか？また、このアンテナはオプションのラジアルキットが無いと 50MHz から 430MHz 帯の電波は出せない。HF 帯から 430MHz 帯迄運用したい場合には畳1畳程のアース板が必要となる。また、この様な精密機器アンテナを屋上に設置のはメンテナンス性が悪く、不向き。

→理事会で検討した結論としては、本部では HF 帯の運用は実施しない事となった。ATAS-120A は市に提出した「新市庁舎アマチュア無線設備仕様一覧」より削除し市にはこのアンテナを発注しないように川畑副会長より市・担当者に伝える。

→下記、【9月20日、市・担当者との打合せ議事録より抜粋】

※区役所で設置された無線設備（無線機、アンテナ一式）の調査をして報告をしてほしい。・・・市・担当者よりの上記、要望に対して理事会にて下記の討議が行われたので箇条書きにて列記した。

- ・各拠点の防災倉庫を調査するとなると各拠点の運営委員会を通しての調査が必要。
- ・各拠点の運営委員会に非常通信協力会員が出席している場合は調査も可能だが、大部分の地域防災拠点は運営委員会に会員が出席していない。
- ・各拠点の防災倉庫は約470拠点ある、これを全部調査するとなるとかなりの期間を要する。
- ・拠点によっては防災倉庫に保管してある物品に一覧表を作成していない所も有る。
- ・支部によっては拠点の防災訓練を実施していない所もあり、その拠点に関して調査を行う事が出来ない。
- ・防災倉庫には購入した当時は有ったが（台帳には記載が有るが）紛失して無い物も有る。
- ・調査の対象は許可を受けている無線機か？、許可を受けてない無線機も含めるか？
- ・我々は拠点の防災倉庫を調査する権限が無いので区役所が防災拠点に割当てている連絡員（3～5名）に依頼して調査をする事は可能かも知れないが、無線の知識が無いと調査は難しい。（何を調査するのも解らない）
- ・当・協力会では各地域防災拠点での調査する権限が無い。
- ・また、市の調査要望に関して協力会としては調査を引受けたので（仮称）調査要望書なる雛形を作成して市が購入した物品と区が購入した物品が識別可能な様に支部

長会を通じて各支部に調査を依頼する方法もあるが管理の方法自体が各拠点で統一されていない為、困難が予想される。

- ・現状コールサインを所持している区役所クラブは旭区、都築区、青葉区、港北区なのでこれらの区は拠点に無線機を所持しているが区役所クラブの所有か地域クラブの所有かの色分けも必要。

本件に関しては理事会にて慎重に検討した結果、下記の結論に達した。

→例えば緑区の管理台帳を雛形として次回、市と打合せを持ち調査の困難さ（470拠点の運営委員会に調査の提案をして実施する、等）を市に説明して困難さ理解して戴き、どの様に進めるのか、又は調査を行わないのか上記、市・担当者との会議にて方向性を決める事。

(4) その他

- 1) 4支部（旭区支部、港北区支部、栄区支部、磯子区支部）に設置を依頼している FT-991AS の予算取りに関しては今年度中には何とか設置が可能となる様に手配したいと市・担当者から報告があった。
- 2) 新市庁舎のアマチュア無線機室入室管理に関しては別途、市・担当者と打合せを実施して詳細を決定する。
- 3) 今後の会議日程
 - ・第4回理事会は11月23日（土曜日）午後1時30分から3時00分に横浜市民防災センター研修室にて実施。
 - ・第3回支部長会は同、3時から4時30分に実施。
(尚、当日は支部長会終了後、忘年会を開催)
 - ・支部長会は2020年3月下旬。理事会は2020年1月18日（土曜日）、午後3時から開催する。

以上